

3 年 学 年 だ よ り

紙風船

20.12.1

一宮市立瀬部小学校

・・・ 2学期のまとめをしよう ・・・

校庭のイチョウも黄色く色づき始め、冬に向けて走り始めました。ご家庭でも季節の節目を感じさせる出来事を進めてみえることと思います。12月は、1年の中でも忙しく慌ただしく毎日が過ぎていきます。そんな中、子どもたちにとっては、2学期の取り組みを振り返り、新学期への新たな課題を見つける大切な節目の月なのです。

暑かった9月から、暖房が恋しくなる12月へと入ってきました。2学期のお子さんの健康の様子はいかがでしたか。心身ともにひとまわり大きく成長したことを実感してみえることでしょう。2学期は、運動会、校外学習、学習発表会など楽しく思い出に残る行事がたくさんありました。その都度、一人ひとりが自分の力を発揮し、充実した内容のある生活を過ごしてきました。これもみなさんのご協力があったからこそと感謝しております。

先日の学習発表会も、3年生のめざす子“自他の命を大切にする子・ねばり強く最後まで取り組む子・よく聞いて進んで発表する子・友だちと仲良く助け合う子”のめあてに向けて、全力で学習活動を展開してまいりました。どの子も一人ひとりが自信を持って堂々と活動をしており、とても喜ばしく思っております。

やさしさを育てるには、・・・

「やさしさ」は、生きていくには必要で大事にしていかなければなりません。

「やさしい」行動を取るには、困っている人の気持ちや悲しい気持ちを理解することが必要です。ダンゴムシが好きだから人も好きだと思い、押しつけて嫌がられたりした子どもさんもみえたことでしょう。

これは一例ですが、好きなことも人によって異なることに気づいていきます。兄弟げんかするとき、互いの気持ちを話し合ったり、親子読書するとき、登場人物の気持ちについて代弁したりしながら、人の気持ちに深く気づかせるようにしてみえらると思います。

よりやさしさを家庭で育むにはどのようなことに気をつけたらよいのでしょうか。

子どもの一番身近にいる存在は、お父さん・お母さんです。その大好きなお父さん・お母さんからやさしさの表現方法を学び身につけていきます。人に優しくしてみえる姿や子どもさんに優しく接してみえる姿を一つのモデルとして提示しながら、やさしさの表現を身につけていくのです。

子どもが「やさしさ」を示したとき、その相手の人は「よい気持ちになったのでしょね」と、側にいる大人が気づかせてあげます。家庭では、子どもの「やさしい」行動を即座にほめることができます。とくに、以前はできなかったのにできるようになったことも理解してあげることで自信を深めていくと思われます。

家庭では、子どもの育ちを待つことができます。今できないことを今解決するのではなく、温かい家庭関係の中でその問題を解決できる力を養っていけます。例えば、年少の子に席を譲れなくても、今後経験を積む中で年少の子のいろいろな特性を理解できるようになることで、次の機会に譲ることができるかもしれません。

子どもは、安心感や安定感をもって生活する中で、「やさしく」されたことの心地よさを感じ、また、「やさしく」したことによって相手が心地よく思っていくことを感じていくことで「やさしく」することの大切さを感じ取っていくことと思います。

<参考文献：児童心理 12月号>

12月予定

- 12月10日(水) 登校指導
- 11日(木)
- 17日(水) A4 個人懇談会(一斉下校 14:00)
時之島西地区
- 18日(木) A4 個人懇談会(一斉下校 14:00)
瀬部地区
- 19日(金) A4 個人懇談会(一斉下校 14:00)
時之島東・竹島地区
- 22日(月) 終業式(一斉下校 11:10)
- 1月 7日(水) 3学期始業式(一斉下校 10:35)

学習予定

- 国語：「わたしの研究レポート」を書こう
- 社会：工場のごと
- 算数：表とグラフ
- 理科：豆電球にあかりをつけよう
- 音楽：まとめ
- 図工：きせつの中で
- 体育：用具を使った運動とかけ足